## ARES 許諾キーについて <販売店様向>

- 許諾キーは、納品されます【ライセンス証書】に掲載されております。
- 製品をインストール後、アクティベーションする際に使用します。
- ご使用中のライセンスを管理するために必要なキーとなります。
- メンテナンスの更新・アップグレード等 ご注文時にご提示が必要です。
- **2ライセンス以上を購入される場合はどちらかの選択が必要です。<スタンドアロン版のみ> 許諾キーの内容をよくご理解いただいた上でキーをご選択ください。<購入申請書にて>**
- キー発行後、単一キーから複数キー <またはその逆>への変更はできません。

許諾キー比較	単一丰一	複数十一
対 象	スタンドアロン版・ネットワーク版・フレックスクラウド版	スタンドアロン版のみ〈雷経由のご注文は単一キーにて発行〉
特徵	複数のライセンスを1つのキーで管理	ライセンス数と <mark>同数のキーで管理</mark>
	例)3ライセンス購入⇒1つのキーを発行	例)3ライセンス購入⇒3つのキーを発行
אשטא	<ul><li>●複数のライセンスを管理・または利用者が限定されていない場合に便利</li></ul>	● ライセンス数が比較的少ない・または利用者が固定されている場合に便利
	管理者は使用したい利用者にキーを自由に割り振ることが可能	個々のキーを各担当(使用者)に割りあてられる。(キーと使用者を1対1で管理できる)
	例)使用者が限定されていない場合	使用者自身でキーの管理が可能。(例:メンテナンス更新等)
	ARESのセットアップ時は1つのキーだけで設定できる(組織の活用)	ライセンスが1個単位のキーで管理されているため、メンテナンスの更新やアップグレード等の
	<u>インストールガイド 組織の作成を参照</u>	本数調整が可能。
	メンテナンスの更新時は、単一キーの保有ライセンスを一括で実行できる	
	管理担当者は管理台数が多い場合でも、各部門にサブリーダーをおいて管理する事ができる	
	会社全体の棚卸の際に便利。〈メンテナンス更新等〉	
デメリット	●メンテナンス更新や会社組織の変更等時、キーが保有するライセンスの構成が変更できない	●キーの個数が多い場合は管理者の負担が大きくなる場合がある。
	メンテナンスの更新やアップグレードは、単一キーが保有するライセンス数単位となる	キーの管理上、メンテナンス更新等の漏れも可能性が大きい
	例)10ライセンスを単一キーで使用。5ライセンスのみメンテナンス更新 ⇒ 不可	各使用者自身が更新等を実行するケースが発生する
	単一キ一発行後、キーの分割は不可	会社全体の棚卸が煩雑になる。
	例) 10ライセンスを単一キーで使用。5ライセンスずつ2つのキーに分けたい ⇒ <mark>不可</mark>	
任意選択	●スタンドアロン版のみ可能 <購入申請書にて選択ください>	●対象外
(オプション)	単一キーを数個発行〈ライセンスの分散〉が可能 *ご注文時のみに限り可能	
特記事項	●ネットワーク版・フレックスクラウド版は単一キーにて発行	●ネットワーク版・フレックスクラウド版は複数キーの選択は不可 <単一キーにて納品>
	新規購入時3ライセンス以上で発行	●雷でのご注文の場合は 複数キーが発行できません〈単一キーにて納品〉
	<ul><li>●メンテナンス契約期間(終了日)はキー単位で管理</li></ul>	●ライセンスの追加購入の場合は、既存のキーへの追加は不可
	例)10ライセンスを1つのキーで使用=10ライセンスのメンテナンス終了日はすべて同日	●メンテナンスの更新やアップグレードは、原則既存のキーを継続使用できます
	● ライセンスの追加購入の場合、既存のキーへの追加は不可	<ul><li>●期間ライセンスは使用期限内の延長の場合、原則既存のキーを継続使用できます</li></ul>
	●メンテナンスの更新やアップグレードは、原則既存のキーを継続使用できます	●単一キーへの変更はできません。
	●期間ライセンスは使用期限内の延長の場合、原則既存のキーを継続使用できます	

Ver:25-240502







